

道徳

「わかっているつもり」をくずし、「う～ん」と考えさせる

学習過程		時間	教師のかかわり(手立て)	めざす児童の姿
構え		0	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的価値の理解 発問の吟味 	挨拶，姿勢，気もちよく
「わかっているつもり」を崩そう(導入)	道徳的価値の実態把握 道徳的価値の方向付け	10	重点①思わず考えたくなる授業の工夫 <ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートや日記等から問題意識を引き出す 教師主導で「わかっているつもり」をくずす 道徳的価値について問題意識をもたせる 	<ul style="list-style-type: none"> 「あれ！？おかしいな」 「うまく言えない」 「う～ん，もっと考えたい」 「今日は〇〇について考えるんだな」
「かち」について考えよう(展開)	考えを交流し深める	25	重点②発見や納得のある授業にするための工夫 <p>☆教材で何（道徳的価値）について考えるのか観点をもたせて教材を読ませる。</p> <p>規則尊重</p> <p>→「どんな約束があったらいいか考えながら読んでね」</p> <p>親切・思いやり</p> <p>→「やさしい人は誰か考えながらよんでね」or「やさしい人になるためのヒントを探しながら読んでね」</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な考えを引き出す発問を吟味する。 様々な学習形態を用いて多面的・多角的に考えさせる 問い返して道徳的価値の深い理解に迫っていく。 構造的な板書で 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでもグループでもわかっている所まで話す。 「考えをもっている人」が「自信のない人」から聞き出す。引き出す。 登場人物の行為・行動の理由（心情）から行為・行動の意味（道徳的価値）へと深める。
みなおそう(終末)	学んだことの自覚化	10	道徳的価値についてふりかえる <ul style="list-style-type: none"> 書く視点を与える はじめと最後の「変容」 道徳的価値について自分の言葉で書かせる 児童の考えに対して意味づけする	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的価値について，前は〇〇だと思っていたけど，今は△△だと思う。 □□も道徳的価値なんだとわかった。 →道徳的価値の理解 道徳的価値がなぜ大切なのかわかったからこれからは〇〇していこうと思う。 →実践意欲